

IX 家畜衛生

IX 家畜衛生

1. 概要

本県の家畜衛生は、家畜保健衛生所法により設置されている中央家畜保健衛生所、北部家畜保健衛生所（北部農林水産振興センター家畜保健衛生課）、宮古家畜保健衛生所（宮古農林水産振興センター家畜保健衛生課）、八重山家畜保健衛生所（八重山農林水産振興センター家畜保健衛生課）の4つの家畜保健衛生所と、家畜衛生試験場が連携して、防疫衛生業務等を推進している。

家畜保健衛生所は、家畜衛生技術の指導・普及、家畜疾病の疫学調査・検査、発生予防・まん延防止等を実施している。一方、家畜衛生試験場は、病性鑑定業務や疾病対策のための試験研究、本県独特の疾病の試験研究を実施している。

近年の国内外における家畜衛生をめぐる情勢として、口蹄疫は平成22年4月に宮崎県で10年ぶり2回目となる発生があり甚大な被害をもたらした。それ以降国内での発生はないが、台湾、フィリピンを除くアジア地域では、継続して発生が確認されており、国内への侵入リスクは高い状態である。高病原性鳥インフルエンザは、ここ数年近隣諸国で継続的に発生している。国内における発生は、令和2年度18県52事例、令和3年度12県25事例、令和4年度26道県84事例と過去に類を見ない発生がみられ、かつ世界的な発生状況を鑑みても令和5年度の国内への侵入リスクは高い状態である。

アフリカ豚熱は中国、韓国等のアジア諸国で感染が拡大している状況であり、国内への侵入リスクは高い状況である。

豚熱は、令和2年1月8日に本県では33年ぶりとなる発生が確認された。うるま市、沖縄市において7事例発生し、疫学関連3農場を含め10農場で殺処分等の防疫措置が行われ、12,381頭の豚が殺処分された。今回の豚熱発生では、発生日から令和2年4月13日の期間、移動制限等の制限区域が設定された。県内の野生イノシシでは本病のウイルスは確認されておらず、養豚場での発生は限局的であった。豚熱の防疫対策の強化として豚熱ワクチン接種、飼養衛生管理基準の遵守強化に取り組んでいるところである。

国内での豚熱(CSF)の発生及びアジア地域でのアフリカ豚熱(ASF)の感染拡大等を踏まえ、令和2年に家畜伝染病予防法、各特定疾病指針の改正、飼養衛生管理基準指導指針の新設、全家畜の飼養衛生管理基準が改正された。

県内での豚熱発生や家畜伝染病予防法等の改正を踏まえ、対策本部・各地域現地対策本部の設置に関する規定、特定家畜伝染病危機管理対策会議設置要綱を見直し、危機管理体制の整備を図るとともに、防疫演習や講習会等を実施して、体制の確認・強化を図る。

今後とも、これらの疾病のみならず、本県における新興・再興感染症の発生及び慢性疾病や複合感染症に対し、発生予防・まん延防止対策や食の安全・安心確保のため、家畜伝染病予防事業、家畜衛生対策事業等を活用し、関係機関と連携して取り組んでいく。

2. 家畜防疫状況（令和4年）

（1）検査実施状況

事業名	家畜の種類	検査頭数		検査の結果		実施時期	摘要	
		実頭数	延頭数	患者	疑似患者			健康
精 密 検 査	B S E	牛	544	544	0	0	544	ELISA 法
	結核	牛	13	13	0	0	13	ツベルクリン皮内反応
	ブルセラ症	牛	14	14	0	0	14	急速凝集反応
	牛流行熱等追跡調査 （抗体）	牛	143	383	0	0	383	中和試験
	牛伝染性リンパ腫	牛	1,646	1,712	383	0	1,329	抗体検査
	ヨ一ネ病	牛	938	938	0	0	938	ELISA 法
	豚熱	豚	3,257	3,257	2,200	250	807	中和試験、ELISA 法
	オ一エスキ一病	豚	1,184	1,184	0	0	1,184	ラテックス凝集反応、中和試験
	ニューカッスル病	鶏	610	610	534	0	76	HI 検査
	家さんサルモネラ症	鶏	240	240	0	0	240	種鶏 急速凝集反応
	高病原性鳥インフルエンザ	鶏	3,111	3,113	0	10	3,103	血清抗体検査、ウイルス分離
	腐蛆病	蜜蜂	1,781	1,781	0	0	1,781	細菌検査

*は抗体検査成績（患者：陽性，疑似患者：疑陽性）

事業名	家畜の種類	検査頭数		検査の種別	検査の結果				実施時期	摘要
		実頭数	延頭数		疾病名	患者	疑似患者	健康		
牛伝染性疾病検査	牛	75,717	281,654	B	0	0	281,654	0	1月～12月	
				S						
				E						
				蹄疫						
				子牛下痢症						
豚伝染性疾病検査	豚	347,861	1,034,226	皮膚真菌症	0	0	1,034,226	0	1月～12月	
				ピントクアイ						
				豚コレラ						
鶏伝染性疾病検査	鶏	3,159,918	18,786,598	口蹄疫	2	42,891	18,743,705	2	1月～12月	
				下痢症						
				大腸菌症						
				異常産						
				肺炎						
				滲出性表皮炎						
				高病原性鳥インフルエンザ						
マレック病										
伝染性コリナーザ										
コクシジウム症										
ブドウ球菌症										
I	B	D								

臨床検査

(2) 注射実施事業

事業名	区分	種類	注射回数						注射の反応				実施期間	摘要	
			第1回	第2回	第3回	計	死亡	流死産	重症	軽症					
牛流行熱・イバラキ病 混合不活化ワクチン	予	牛	120	132	0	252	0	0	0	0	0	0	0	1月～12月	
牛異常産3種混合不活 化ワクチン	予	牛	1,304	812	0	2,116	0	0	0	0	0	0	0	"	
アカバネ病	予	牛	304	0	0	304	0	0	0	0	0	0	0	"	生ワクチン
牛流行熱	予	牛	760	0	0	760	0	0	0	0	0	0	0	"	不活化
豚熱	予	豚	356,674	2,508	6,927	366,109	0	0	0	0	0	0	0	"	生ワクチン
ニューカッスル病	予	鶏	760	0	0	760	0	0	0	0	0	0	0	"	不活化

(3) 薬浴(投薬)実施状況

事業名	区分	家畜の種類	実施回数				薬浴(投薬)の反応				実施期間	摘要	
			実回数	延回数	死亡	流死産	重症	軽症					
ダニ駆除	投	牛	922	922	0	0	0	0	0	0	0	"	バイチコール

3. 家畜伝染病発生状況

年	病名	アナプラズマ症	ピロプラズマ症	豚	熱	ヨーネ病	結核	流行性脳炎 (豚)	ニューカッスル病	ひな白痢
	H20	1				2			300	
	H21					14				
	H22					2				
	H23					6				
	H24					2		15		
	H25					1				
	H26							2		
	H27					1				
	H28									
	H29									
	H30					2				
	H31 (R1)					2				
	R2				16					
	R3					7				
	R4									

4. 牧野ダニ侵入防止対策事業

(1) オウシマダニ侵入防止推進会議

(令和4年度)

開催回数	参集範囲	参加延べ人数	備考
技術検討会 1回	国, 県, 家保, 有識者等	20人	対面開催

(2) ダニ監視体制強化の整備

(令和4年度)

区分	対象地域	回数 または 頭数
草地ダニ検査	八重山地域	60回
	宮古地域	6回
牛体ダニ検査	八重山地域	3,007頭
	宮古地域	119頭
血液原虫検査	八重山地域 (県外導入牛舎)	486頭
	県外導入牛 (八重山地域外)	137頭

5. オウシマダニ撲滅達成状況

令和4年3月現在

地 域 名	撲 滅 達 成 年 度
伊 是 名 島	昭和56年度
伊 平 屋 島	60
多 良 間 島	61
北 大 東 島	61
伊 良 部 島	61
黒 島	平成2年度
竹 富 島	3
鳩 間 島	3
小 浜 島	4
波 照 間 島	4
与 那 国 島	5
西 表 島	6
石 垣 島	8
内 離 島	8
外 離 島	8

(撲滅達成)：ダニ駆除又は牛処分終了後、最低1年以上オウシマダニが全く確認出来ない状態を撲滅達成とした。

6. 家畜伝染病に係る沖縄県対策本部設置要綱、要領等

伝染病名	要綱、要領等	策定年月日 (最終改正日)
特定家畜伝染病	沖縄県特定家畜伝染病危機管理対策会議設置要綱	平成24年5月16日 (令和4年8月29日)
	沖縄県特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	令和2年1月7日 (令和3年12月8日)
高病原性鳥インフルエンザ(法)	沖縄県高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアル	平成29年9月9日 (令和3年3月18日)
口蹄疫(法)	沖縄県口蹄疫防疫方針	平成22年6月16日 (平成26年6月30日)
	沖縄県口蹄疫侵入防止対策ガイドライン	平成22年7月1日 (平成26年6月30日)
	沖縄県口蹄疫防疫対策マニュアル	平成22年6月17日 (平成31年3月19日) H31.3名称変更
	家畜市場口蹄疫侵入防止対策方針	平成22年6月1日
牛海綿状脳症(BSE)(法)	沖縄県牛海綿状脳症(BSE)対策本部設置要綱	平成13年10月17日 (平成26年6月30日)
ヨーネ病(法)	沖縄県牛ヨーネ病防疫対策実施要領	平成14年10月4日 (令和4年4月1日)
豚熱(法)	沖縄県豚コレラ防疫対策要領	平成13年2月13日
	沖縄県豚熱防疫対策マニュアル	令和4年6月20日
オースキー病(届)	沖縄県オースキー病防疫対策実施要領	平成3年8月30日 (平成30年3月28日)
	県外導入豚着地検査実施要領	平成12年11月1日 (平成30年3月28日)
	沖縄県オースキー病防疫協議会会則	平成3年9月24日 (平成30年12月3日)
	沖縄県オースキー病防疫協議会細則	平成4年6月12日 (平成30年12月3日)
出先機関	北部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成22年5月27日 (令和3年7月12日)
	中南部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成26年12月27日 (令和3年1月20日)
	宮古地域特定家畜伝染病対策本部設置要綱	平成22年6月1日 (平成30年6月4日)
	八重山地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成19年3月12日 (令和2年12月24日)

注意:(法)家畜伝染病、(届)届出伝染病

7. 令和4年度沖縄県特定家畜伝染病防疫実働演習について

口蹄疫や鳥インフルエンザの侵入防止対策の強化と実効性ある迅速な初動防疫態勢および発生時のウイルス拡散防止対策技術を訓練する目的で、関係各課および関係団体のご理解、ご協力の下、4つの地区で関係機関団体参加型の実働演習を開催致しました。

【北部家畜保健衛生所】

■ 令和4年度北部家畜保健衛生所家畜防疫員実働演習（令和4年12月14日）

- ◇ 参加者：市町村、家畜保健衛生所職員
- ◇ テーマ：特定家畜伝染病発生時における防疫作業等、車両消毒作業及び消毒ポイント運営

【中央家畜保健衛生所】

■ 令和4年度特定家畜伝染病発生時における消毒ポイント設置に係る演習（令和4年9月14日）

- ◇ 参加者：県、市町村、警備業協会、赤帽、沖総、水産海洋技術センター等
- ◇ テーマ：消毒ポイントの運営



■ 令和4年度特定家畜伝染病防疫資材搬出に係る防疫実働演習（令和4年9月20日）

- ◇ 参加者：赤帽、獣医師会、南部普及所、水産海洋技術センター等
- ◇ テーマ：発生時の初動防疫にかかる資材の搬出



【宮古家畜保健衛生所】

■ 令和4年度宮古地域特定家畜伝染病防疫演習（令和4年12月14日）

- ◇ 参加者：県機関、市町、生産者団体等、関係団体、国機関
- ◇ テーマ：宮古地域における宮古家畜保健衛生所を中心とした関係機関との防疫体制の強化

【八重山家畜保健衛生所】

■ 令和4年度八重山地域特定家畜伝染病防疫演習（令和5年1月18日）

- ◇ 参加者：県機関、市町、生産者団体等、関係団体、国機関、防疫協定団体等
- ◇ テーマ：埋却困難地域での盛土式埋却演習

